																	_
						1 令和	116年度	東京都都	市再開発導	F業決算:	報告書						
(1) 収	益的収入及び支出																
	収入																
		于				箅			*	i							
	区 分	当初予算者	ij		補正予算者	質 の規	『公営企業』 【定による支 E当額	と第24条第3項 出額に係る財	合	#H	決	算	額	予算額に比 決算額の増	滅滅	備 考 (うち、仮受消費税 及び地方消費税)	
	都市再開発事業収益 営業収益	8	円 31,263,000			H 0		P3 0		81,263,000			円 31,526,044		円 19,736,956 0		. (
	営業外収益	8	31,263,000			0		0		81,263,000	1		31,526,044	Δ4	19,736,956		(
	支出							-									
	区分	当初予算額	補 正予算額	予備費支出額	流 用 増減額	地方公営企業	法第規定	小 計	額 地方公営企業沿 26条第2項の規 による繰越額	第 合	B-1-	決	算 額	地方公営企業法第 26条第2項の規定 による繰越額	不用額	備 考 (うち、仮払消 及び地方消費	費税
第1項	都市再開発事業費用 営業費用 営業外費用	円 10,000,000 6,689,000 3,311,000	o o	0			0 0 0	10,000,000 6,689,000 3,311,000		円 0 0	円 10,000,000 6,689,000 3,311,000		F: (0	10,000,0	000	. (

(2)	資本的収入及び支出	

収入

			予		算	箱				
	区 分	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条 の規定による繰越額に係 る財源充当額	継続費通次繰越額 に係る財源充当額	合 計	決 第 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (うち、仮受消費税 及び地方消費税)
		円	円	円	円	P	Ħ	PI	H	P
第1款	資本的収入	4,357,748,000	0	4,357,748,000	0	0	4,357,748,000	3,735,521,483	△ 622,226,517	(0)
第1項	一般会計負担金	1,880,000	0	1,880,000	0	0	1,880,000	370,000	△ 1,510,000	(0)
第2項	公営企業会計負担金	2,363,000,000	0	2,363,000,000	. 0	0	2,363,000,000	1,985,297,232	△ 377,702,768	(0)
第3項	国庫補助金	1,044,684,000	0	1,044,684,000	0	. 0	1,044,684,000	880,155,000	△ 164,529,000	(0)
第4項	都市再開発事業収入	615,904,000	0	615,904,000	0	0	615,904,000	570,310,803	△ 45,593,197	(0)
第5項	雑収入	332,280,000	0	332,280,000	0	0	332,280,000	299,388,448	△ 32,891,552	(0)

支 出

		· 7·		算	额				翌 年	度 4	東越 額		
区分	当初予算額	補正予算額	流用增減額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定によ る繰越額	継續 費 次 越 額	合 計	決算額	地方公営企業法第 26条の規定による 繰越額	継続連奏級額	승 計	不用額	備 考 (うち、仮払消費税 及び地方消費税)
	Ħ	円	Н	- н	PI	円	円	PI	. Е	円		9 19	H
第1款 資本的支出	4,370,000,000	0	0	4,370,000,000	51,802,000	. 0	4,421,802,000	3,759,388,298		0		0 662,413,702	(13,597,099)
第1項 都市再開発事業費	4,364,597,000	0	,0	4,364,597,000	51,802,000	0	4,416,399,000	3,759,388,298	[0		0 657,010,702	(13,597,099)
第2項 国庫補助金返還金	5,403,000	0	0	5,403,000	0	0	5,403,000	((0		0 5,403,000	(0)

資本的収支の差引きは、次のとおりである。

| 資本的収入合計 3,735,521,483 円 翌年度への縁越工事資金 0 円 資本的支出合計 3,759,388,299 円 差引変金不足額 23,866,815 円 差引不足額 23,866,815 円 (前年度からの縁越工事資金で構填)

注 この計算書における△表記は、減少を示すものである。

年度末残高

23,672,812,587

8,468,616,735

当年度未処分 利益期余金 5,973,929,385

14,442,546,120

39,245,591,681

17,928,945

17,928,945

17,928,945

17,928,945

17,928,945

17,928,945

当年度純利益

年度変動

(1) 舜 II.

型

 $\stackrel{\underline{*}}{=}$

17,925,145 3,800

17,928,945

17,928,945 17,928,945

17,928,945

*

(2) 雑

口

账 箈

併

冲

鴐

些 綨

縙 綨 ġœ 綃

0 令和6年度東京都都市再開発事業損益計算書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

 \mathbb{H}

 \exists

当年度未処分利益剰余金 前年度繰越利益剰余金

都市再開 事業積立 の 積		議会の議決による処分額	前年度処分額	前年度末残高					
l	第位発金立	表价	務						
	0	0	0	23,672,812,587	B) }	₩ * •		
	0	0	0	1,130,232,974	В	受赠財産 評価額	資本東		
	0	0	0	1,130,232,974	H	資本剰余金 合計	資本剰余金		
	46,907,178	46,907,178	46,907,178	8,421,709,557	B	都市再開発 事業積立金		剩余金	
(繰越利益剰余金)	∆46,907,178	∆46,907,178	∆46,907,178		B	未処分利益 剰余金	利益剰余金		
	0	0	0	6,002,907,618 14,424,617,175 39,227,662,736	田	利益剰余金 合計			
	0	0	0	39,227,662,736	В); 1 1 1	₩		

ω 令和6年度東京都都市再開発事業剰余金計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

33

生(少川井青における仏衣田は、例少を小りもりてのる。		都市再開発事業積立金の積立	議会の議決による処分額	当年度未残高		4 令和6年度東京都都市再開発事業剰余金処分計算書(案)
	23,672,812,587	0	0	23,672,812,587	資本金	、都都市再開発
à la company de la company	1,130,232,974	0	0	円 1,130,232,974	資本剰余金	事業剰余金処5
	(繰越利益剰余金) 5,973,925,585	∆3,800	∆3,800	円 5,973,929,385	未処分利益剰余金	分計算書(案)

河	鴻				2		ш	II 流	典				_	Ι				
	痩	#	(2) ~	(1) 営	#	(1) 預	型		選	*	(2)	(1)	#	噩				
齑	鴐	₩.	40	河業		鬞	金	专	発	未成再開発資産合	都関市	泉岳寺駅地区都市再 開 発 事 業 費	成再					ر ان
□⊳	摇	₩	舎	*	垃		\mathbb{Z}	'A'A'	資産	月発 貧	再票道	中原系统	開発	発				∃ }
ц			未 员	未及			滋	ДK		資産	市再開発事	地南区美	発資	資				· 活
nju	<u>пμι</u>	nhi	₩	₩	金		④	齑	<u> </u>	型型	算業費	郎芸市費	海	渐				年.
86,663,598,923	40,510,074,399	316,694,619	298,541,849	18,152,770		40,193,379,780			46,153,524,524	46,153,524,524	3,019,693,271	43,133,831,253			н н	資産の地	(合和7年3月31日)	令和6年度東京都都市再開発事業貸借対照表

血	流		2					1	田流	
海	動	(1) 営	丰	*	(3) 7	(2) I	(1) 営	#	便	
	負債	綝	承	拉金	9	₩.	紪	拉		
□>	⊐ķ	擅換		ı.≻	(3)その他未払	未払	* * *	•	負	
<u> </u>	ᄪ	*	*	ᅖ	₩	*	*	*	痶	
					31	1,10	25,31			
					314,900,523	1,103,107,633	25,314,291,192			
		12		2	23	33	92			H
		20,685,707,894		26,732,299,348						
		07,894		99,348						H
47,4	47,4									
47,418,007,242	47,418,007,242									
,242	,242									田

位	河	悪				2		_	V 剰	資				1	W 資		
海 資	*	余	利益	(2) 進進 5	(1) 巻 i	利益	(1) 受員	資本		*	(3) 組	(2) 繰	(1) 固	資			
→ →	□⊳		剰余金)当年度未処分利益剰余金	市再開発 公	剰余	受贈財産評価額	剰余	徐	金合	入資	入資	有資	*	*		
	#	ᅖ	마	90余二分金一分金	事業金	₩	舶額	₩	命	<u> </u>	本 金	本金	★ 金	(4)	命		
																	湾
				ប្រ	œ												*
				5,973,929,385	8,468,616,735											围	の
			14,442,546,120				1,130,232,974				22,379,179,416	1,162,072,000	131,561,171				
			5,120				2,974), <u>416</u>	2,000	1,171			田	
86,663,598,923	39,245,591,681	15,572,779,094								23,672,812,587						田	

注1 消費税の会計処理基準 2 引当金の計上基準 3 未成再開発資産 賞与引当金 退職給付引当金 令和7年5月31日 いるため、引当金を計上しない。 建設途上の敷地、施設建築物、公共施設に係る経費を計上している。 職員の期末手当及び勤勉手当については、他会計において全額負担することとして 職員の退職手当については、他会計において全額負担することとしているため、引当 税抜き方式によっている。 東京都知事 ÷ 笉 뻐 □⊳ 4

東京都臨海地域開発事業会計決算

令和7年10月31日(金曜日)

1 令和6年度東京都 臨海地域開発事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 人

		予	算	額			
区分	当初予算額		地方公営企業法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額	습 計	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減	備考
	円	円	円	円	円	円	
第1款 開発事業収益	32, 199, 000, 000	0	0	32, 199, 000, 000	23, 759, 063, 710	△ 8, 439, 936, 290	
第1項 営業収益	29, 363, 909, 000	0	0	29, 363, 909, 000	19, 845, 745, 210	△ 9, 518, 163, 790	
第2項 営業外収益	2, 835, 081, 000	0	0	2, 835, 081, 000	3, 912, 668, 251	1, 077, 587, 251	(うち、仮受消費税及び地方消費税 79,339,752
第3項 特別利益	10, 000	0	0	10,000	650, 249	640, 249	
合 計	32, 199, 000, 000	0	0	32, 199, 000, 000	23, 759, 063, 710	△ 8, 439, 936, 290	

支 出

				予			算		額					
	K	Ø)	当初予算額	補 正			地方公営企業法第 21条第3項の規定 による支出額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	合 計	決 算 額	地方公営企 業法第26条 の規定によ る機越額	不 用 額	備考
1			円	П	四	円	円	П	ΓΊ	[I]	円	円	П	
	第1款 開	発事業費用	38, 198, 000, 000	0	0	0	0	38, 198, 000, 000	0	38, 198, 000, 000	33, 101, 268, 911	0	5, 096, 731, 089	
	第1項	営業費用	15, 888, 000, 000	0	0	0	0	15, 888, 000, 000	0	15, 888, 000, 000	9, 859, 987, 845	0	6, 028, 012, 155	(うち、仮払消費税及び地方消費税 172,063,558 円)
	第2項	営業外費用	1, 677, 822, 000	0	0	0	0	1, 677, 822, 000	0	1, 677, 822, 000	1, 005, 489, 153	0	672, 332, 847	(うち、仮払消費税及び地方消費税 153,762円) (うち、消費税及び地方消費税
	第3項	特別損失	20, 632, 178, 000	0	0	0	0	20, 632, 178, 000	0	20, 632, 178, 000	22, 235, 791, 913	0	△ 1, 603, 613, 913	5, 327, 300 円)
	合	計	38, 198, 000, 000	0	0	0	0	38, 198, 000, 000	0	38, 198, 000, 000	33, 101, 268, 911	0	5, 096, 731, 089	

(2) 資本的収入及び支出

収 人

						予			算	額							
	×		分		当初予算額	正額	小	라	地方公営企業法第26 条の規定による繰越 額に係る財源充当額	越額に係る財	合	計	決	算 額		算額に比べ	備考
Г					円	H		円	円	円		H		円		円	
第	1款資	本	的収	Д	192, 000, 000	0	192, 0	000, 000	0	0	15	92, 000, 000		1, 736, 216	Δ	190, 263, 784	
	第1項 剝	准	収	Д	192, 000, 000	0	192, (000, 000	0	0	15	92, 000, 000		1, 736, 216	Δ	190, 263, 784	(うち、仮受消費税及び地方消費税 16,735円)
	合		計		192, 000, 000	0	192, (000, 000	0	0	15	92, 000, 000		1, 736, 216	Δ	190, 263, 784	

			予		算		額			翌年月	变 繰	越額		
×	分	当初予算額	補 正	流 用 増減額	小 計	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額	费逓	△ ±1.	決 算 額	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	継続 費 次 越 額	合 計	不 用 額	備考
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
第1款	資本的支出	119, 432, 000, 000	0	0	119, 432, 000, 000	206, 567, 000	0	119, 638, 567, 000	107, 389, 103, 957	2, 700, 447, 000	0	2, 700, 447, 000	9, 549, 016, 043	
第15	頁 埋立事業費	21, 946, 195, 000	0	0	21, 946, 195, 000	206, 567, 000	0	22, 152, 762, 000	9, 903, 299, 704	2, 700, 447, 000	0	2, 700, 447, 000	9, 549, 015, 296	※ 1
第25	頁企業債費	97, 485, 805, 000	0	0	97, 485, 805, 000	0	0	97, 485, 805, 000	97, 485, 804, 253	0	0	0	747	※ 2
合	#	119, 432, 000, 000	0	0	119, 432, 000, 000	206, 567, 000	0	119, 638, 567, 000	107, 389, 103, 957	2, 700, 447, 000	0	2, 700, 447, 000	9, 549, 016, 043	

※1 (うち、仮払消費税及び地方消費税 720,211,569円) ※2 (うち、仮払消費税及び地方消費税 73,113 円)

資本的収支の差引及び不足額の補塡は、次のとおりである。

資本的収入合計 1,736,216円 前年度からの繰越額 △ 206,567,000 円 不足額充当財富 資本的支出合計 107,389,103,957円 翌年度への繰越工事資金 2,700,447,000 円 担益即定留保資金等 109,881,247,741 円 差 引 不 足 額 107,387,367,741 円 差 引 資 金 不 足 額 109,881,247,741 円

6 特 別 損 失 (1)その他特別損失 当 年 度 純 損 失 前年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 当年 度 未 処分利 益 剰余金	5 特 別 利 指 (1) 固定資産処分類	養外費用 払利息及企業 支	3 資業外収益 (1) 受 販 利 思 (2) 一般会計補助金 (3) 長期前受金戻入 (4) 雑 収 益	2 資業費用 (1) 埋立地処分原循 (2) 一	1 首 業 及 益 (1) 埋立地処分収益 (2) 埋立地賃貸料収益 (3) 臨海副都心用地賃貸料収益	: :
22, 235, 791, 913	591, 136	303, 863, 017 818, 494, 468	205, 393, 212 17, 672, 613 93, 408 3, 610, 228, 411	6, 616, 783, 097 2, 940, 550, 258 130, 590, 932	8, 676, 000, 000 4, 194, 312, 703 6, 975, 432, 507	三度東京都臨海地域 年4月1日から合和 円
22, 235, 791, 913	591, 136	1, 122, 357, 485	3, 833, 387, 644	9, 687, 924, 287	19, 845, 745, 210	令和6年度東京都臨海地域開発事業損益計算書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで) 円
△ 22, 235, 200, 777 9, 366, 349, 695 142, 448, 650, 042 133, 082, 300, 347	12, 868, 891, 082	2,711,030,159		10, 157, 820, 923)

3 令和6年度東京都臨海 地域開発事業剰余金計算書 (令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで)

利 益 剰 余 資 剰 資本金 資本合計 受贈財産 寄付金 補助金 開発者 その他資 未処分利 利益剰余 資本剰余 減債 積立金 評価額 負担金 本剰余金 金合計 益剰余金 金合計 前年度末残高 694, 732, 644, 94 51, 202, 354, 6 120, 000, 0 177, 343, 43 3, 536, 336, 1 374, 979, 98 55, 411, 014, 24 142, 448, 650, 0 142, 448, 650, 04 892, 592, 309, 23 前年度処分額 議会の議決による処分額 積立金の積立 (繰越利益剰余金) 142,448,650,042 892, 592, 309, 23 処分後残高 694, 732, 644, 946 51, 202, 354, 65 120, 000, 00 177, 343, 455 3, 536, 336, 14 374, 979, 984 55, 411, 014, 244 142, 448, 650, 042 △9, 366, 349, 695 当年度変動額 △9, 366, 349, 698 △9, 366, 349, 69 積立金の使用 資本金への組入 受贈等資本取引 当年度純利益 △9, 366, 349, 698 △9, 366, 349, 69 △9, 366, 349, 698 当年度未知分利益剩余金) 133,082,300,347 694, 732, 644, 946 51, 202, 354, 657 120, 000, 000 177, 343, 455 3, 536, 336, 148 374, 979, 984 55, 411, 014, 244 883, 225, 959, 53 当年度末残高 133, 082, 300, 347

注 この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものである。

	ŏ.	この計算書における△表記は、減少又は欠損を示すものである。	注 この計算書における△表記は
(雜版和原理宗治) 133, 082, 300, 347	55, 411, 014, 244	694, 732, 644, 946	処分後残高
0	0	0	議会の議決による処分額
133, 082, 300, 347	55, 411, 014, 244	694, 732, 644, 946	当年度末残高
未処分利益剰余金	資本剰余金	資本金	

日	112, 871, 011, 467				固定資產合計
四		111, 541, 368, 508			投資その他の資産合計
田 田 田 田 田 田 田 田 田 田			△ 57, 397, 178		
四			59, 077, 178		
管 底 の 第 日 で 資 底 を			5, 000, 000, 000		長期貸付
管 底 の 第			106, 539, 688, 508		萃
(1) 第					(3) 投資その他の資産
中 中 中 中 中 中 中 中 中 中		27, 188, 377			無形固定資産合計
			22, 918, 593		
			3, 980, 500		
管 産 の 部			289, 284		電話加入
四					無形固定資
日		1, 302, 454, 582			有形固定資産合計
(1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4			23, 086, 000		建設仮勘
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本			6, 056, 281	\triangle 115, 069, 325	減価償却累計額
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				121, 125, 606	
日本			1, 163, 169, 531	\triangle 624, 623, 035	減価償却累計額
(1) (1) (2) (4) (5) (6) (7) (1, 787, 792, 566	船
(1771年) (3, 778, 958	\triangle 10, 833, 873	減価償却累計額
				14, 612, 831	車両運搬
			378, 148		減価償却累計額
(1771 - 1775 - 1777				923, 723	蒸 灰 及 装
(13717-1707-17) (13717-1707-1707-17) (13717-1707-1707-17) (13717-1707-1707-1707-1707-1707-1707-1707			6, 034, 448	△ 39,064,268	
(1771年7775年77) 資産の第 円 円 円 円 に資産 1年					
(13月11 - 17.15 - 11.7) 資 産 の 第 日 日 日 日 右 形 固 元 資 産 参 329,655,345			99, 951, 216		減価償却累計額
(1971年7070年7) 資産の第 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				329, 655, 345	雄
資産の第					有形固定資
産の 製					治浴
第一の 単 章		田	迅	迅	
			9	常	
()/H + c / c + I /				;	

海	拉 () ()	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	未収金合計	貸倒引当金	ウ その他未収金	イ 営業外未収金	ア 営 業 未 収 金	(2) 未 収 金	現金預金合計	ア預金	現金	2 活 型 浴 揺	埋立地造成合計	未成埋立地合計	大 別 難 工	ウ 埋 立 関 連 費	イ 臨海副都心地区事業費	ア 港湾計画埋立地区事業費	(2) 未 成 埋 立 地	Ĥ	(1) 中央 市外 支机 以 市场 市场 市场 市场 市场 市场 市场	ii
		2, 072, 927, 273		△ 3, 466, 400	126, 151, 173	228, 080, 527	3, 429, 763			159, 008, 950, 206					△ 46,850,606,876	1, 209, 717, 719	125, 791, 972, 321	92, 075, 795, 614				迅
100, 110, 311	2, 072, 927, 273		354, 195, 063						159, 008, 950, 206					172, 226, 878, 778						TT0, 20T, 002, 020	445 054 622 020	围
892, 621, 766, 026													618, 181, 511, 606									I

774, 821 9, 395, 806, 489	△ 137, 363		(3) 反消化联半纖纖周 反溢合 計
6, 898, 486, 317	912, 184		6 黨 总 支 说 6 黨 总 支 说 依 的 要 要 吸 余
	28, 949, 800	16, 190, 923 12, 758, 877	11/2 /III-
	91, 267, 947 288, 860		(2) 賞 与 引 当 金(3) 環境安全対策引当金
	6, 777, 979, 710	689, 071, 268 5, 768, 694, 018 5, 327, 300 314, 887, 124	5 流 動 負 債 (1) 未
2, 496, 545, 351	1, 684, 238, 211	783, 343, 811 900, 894, 400	(2) その他固定負債 ア 預 り 保 証 金 イ 預 り 金 その他固定負債合計 固 定 負 債 合 計
B	円 812, 307, 140	田田	4 固 定 負 債 (1) 退職給付引当金
	喪	負債の	

超紅剩余命合門	(2)利 益 剰 余 金 ア 当年度未処分利益剰余金	貧		発者 負担	1	受贈財産評価	(1)資本剰余金	8 墨	資本金合計	自己資本命合計	禁が入れてなる。	固有資本	山田河谷	7資 本 金		
	133, 082, 300, 347		374, 979, 984	3, 536, 336, 148	177 343 455	51, 202, 354, 657				991, 100, 909, 192	338, 767, 446	157, 227, 294, 368			B B	資本の
133, 082, 300, 347		55, 411, 014, 244							0000	694, 732, 644, 946				-	Ξ	專
188, 493, 314, 591 883, 225, 959, 537 892, 621, 766, 026									694, 732, 644, 946					-	Ξ	

9 ω 10 4 引当金の計上方法 8 リース取引の処理方法 その他 完成埋立地 未成埋立地 埋立地処分原価 消費税の会計処理基準 固定資産の減価償却方法 有価証券の評価方法 令和7年5月31日 展 付地の底地等を計上している。 計上している。雑収入は、工事負担金等、未成埋立地の控除項目を計上 で、埋立地の造成に係る総費用を有償で処分する面積に配分する方法に ス取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行 より算出している。 引当金の取り崩しについて 1年内 所有権移転外ファイナンス・リース取引及びオペレーティング・リー 埋立地処分原価の執行に伴い、未成埋立地から振り替えられた長期貸 埋立地の造成に要する経費(完成埋立地を除く。)を計上している。 (3) 環境安全対策引当金 1 年超 なお、未経過リース料総額については、次のとおりである。 港湾計画埋立地区事業費、臨海副都心地区事業費は、地区別の内訳を 埋立地処分原価は、埋立地処分収益に対する費用として計上したもの 税抜き方式によっている。 京 (2) 賞与引当金 (1) 退職給付引当金 当事業年度における各引当金の取崩額は以下のとおりである。 (4) 環境安全対策引当金 (2) 賞与引当金 (1) 退職給付引当金 定額法によっている。 有価証券は、個別法による原価法によっている。 計 15,923,853円 将来発生すると見込まれる額を計上している。 収不能見込額を計上している。 までの4か月分)を計上している。 ける支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額(12月から3月 支給額に相当する額を計上している。 債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回 職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末にお 職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要 ポリ塩化ビフェニル(PCB)の処理費用の支出に備えるため、 绺 牲 9,041,231円 6,882,622円 # 83, 555, 334円 24, 556, 150円 ÷ 1, 187, 194円 街 퍼 4

東京都港湾事業会計決算

1 令和6年度東京都港湾事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収入

			予	算 有	ij			
区	分	当 初 予 算 額		地方公営企業法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額	숌 計	決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
		H	円	円	円	円	H	
第1款	港湾事業収益	4, 898, 000, 000	0	0	4, 898, 000, 000	4, 871, 903, 868	△ 26, 096, 132	
第1項	営業収益	4, 338, 590, 000	0	0	4, 338, 590, 000	4, 243, 363, 698	△ 95, 226, 302	(うち、仮受消費税及び地方消費税 296,704,630円)
第2項	営業外収益	559, 400, 000	0	0	559, 400, 000	628, 197, 662	68, 797, 662	(うち、仮受消費税及び地方消費税 64,280,095 円) (うち、消費税及び地方消費税選付金 50,771,771 円)
第3項	[特別利益	10,000	0	0	10, 000	342, 508	332, 508	
合	7	4, 898, 000, 000	0	0	4, 898, 000, 000	4, 871, 903, 868	△ 26, 096, 132	

支 出

			子			算		額					
×	分	当初予算額	補 正 子算額			地方公営企業法第 24条第3項の規定 による支出額	小計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	습 카	決算額	地方公営企 業法第26条 の規定によ る繰越額	不 用 額	備 考
		円	P	円	H	円	円	PI	H	円	Н	H	
第1款	港湾事業費用	6, 584, 000, 000	0	0	0	0	6, 584, 000, 000	0	6, 584, 000, 000	5, 459, 390, 980	0	1, 124, 609, 020	
第1項	[営業費用	6, 461, 000, 000	0	0	0	0	6, 461, 000, 000	0	6, 461, 000, 000	5, 321, 557, 746	0	1, 139, 442, 254	(うち、仮払消費税及び地方消費税 278,899,310円)
第2項	質業外費用	122, 990, 000	0	0	0	0	122, 990, 000	0	122, 990, 000	22, 514, 138	0	100, 475, 862	(うち、仮払消費税及び地方消費税 15,300 円)
第3項	特別損失	10,000	0	0	0	0	10,000	0	10, 000	115, 319, 096	0	△ 115, 309, 096	
合	計	6, 584, 000, 000	0	0	0	0	6, 584, 000, 000	0	6, 584, 000, 000	5, 459, 390, 980	0	1, 124, 609, 020	

(2) 資本的収入及び支出

収 入

				于		算	額				
区 分	1	当初予算額	補	E	小計	地方公営企業法第26 条の規定による繰越	越額に係る財	合 카	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備考
			予 算	額		額に係る財源充当額	源充当額				
		H		円	PI	円	H	円	H	H	
第1款資本的収	지	721, 000, 000		0	721, 000, 000	0	0	721, 000, 000	1, 537, 999	△ 719, 462, 001	
第1項 企業	债	720, 000, 000		0	720, 000, 000	0	0	720, 000, 000	0	△ 720,000,000	
第2項 固定資産売却収	지	0		0	0	0	0	0	300, 992	300, 992	(うち、仮受消費税及び地方消費税 27,366円)
第3項 雑 収	入	1,000,000		0	1,000,000	0	0	1, 000, 000	1, 237, 007	237, 007	21,300[])
合 計		721, 000, 000		0	721, 000, 000	0	0	721, 000, 000	1, 537, 999	△ 719, 462, 001	

				子		算		額			翌年	度繰	越 額		
	区	分	当初予算額		流 用增減額	小 計	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額	費进	合 計	決算額	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額	継続 費 次 越 額	合 計	不 用 額	備考
			H	Ħ	円	P	H	円	PI	H	H	円	H	Ħ	П
第1	款 資	本的支出	4, 113, 000, 000	0	0	4, 113, 000, 000	534, 609, 000	0	4, 647, 609, 000	1, 710, 417, 877	324, 740, 000	0	324, 740, 000	2, 612, 451, 123	1 1
第	1項	建設改良費	3, 177, 000, 000	0	0	3, 177, 000, 000	534, 609, 000	0	3, 711, 609, 000	1, 106, 433, 877	324, 740, 000	0	324, 740, 000	2, 280, 435, 123	*
第	2項	投資	936, 000, 000	0	0	936, 000, 000	0	0	936, 000, 000	603, 984, 000	0	0	0	332, 016, 000	
	ô	ăl:	4, 113, 000, 000	0	0	4, 113, 000, 000	534, 609, 000	0	4, 647, 609, 000	1, 710, 417, 877	324, 740, 000	0	324, 740, 000	2, 612, 451, 123	i

※ (うち、仮払消費税及び地方消費税 97,402,394円)

資本的収支の差引及び不足額の補塡は、次のとおりである。

資本的以入合計 1,537,999円 前年度からの繰越額 △ 534,609,000円 不足額充当財源 資本的支出合計 1,710,417,877円 翌年度への繰越1事資金 324,740,000円 損益勘定留保資金等 1,499,010,878円 差引 資金 不足 額 1,499,010,878円

$\begin{array}{c} 5,042,658,436 \\ 1,095,999,368 \\ \\ 563,917,567 \\ \\ 34,605,777 \\ \\ 529,311,790 \\ \\ 566,687,578 \\ \\ 311,372 \\ \\ \\ \end{array}$	6, 550 115, 312, 546	当 年 度 純 損 失 前年度繰越利益剰余金
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		6 特 別 損 失 (1) 固定資産処分損 (2) 過年度損益修正損
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	311, 372	5 特 別 利 益 (1) 固定資産処分益
·	34, 605, 777	4
•	28, 268, 346 410, 000 17, 639, 804 517, 599, 417	3 営業外収益 (1)受取利息 (2)一般会計補助金 (3)長期前受金戻入 (4)雑収益
	2, 590, 076, 065 1, 452, 891, 743 999, 690, 628	2 対 柴 費 用 (1)管理運管費 (2)該価償却費 (3)資産減耗費
業損益計算書 3月31日まで) 円 円 3,946,659,068	令和6年度東京都港湾事業損益計算書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで) 円 円 円 円 (円 の	2 合和 6 4 (合和 6 年 (合和 6 年 1)

3 令和6年度東京都 港湾事業剰余金計算書 (令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで)

				1Gel	^	^			
		資	本 剰 余	金	余	<u>金</u> 利 益 秉	1 余 金		
	資本金	受贈財産評価額	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計	減債積立金	建設改良積立金	未処分利 益剰余金	利益剰余 金合計	資本合計
前年度末残高	335, 104, 818, 018	18, 445, 564, 829	1, 573, 098	18, 447, 137, 927	[7] 0	[7] 0	71 22, 751, 510, 521	79 22, 751, 510, 521	376, 303, 466, 46
前年度処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	
積立金の積立	0	0	0	0	0	0	0	0	
資本金への組入	0	0	0	0	0	0	0	0	
処分後残高	335, 104, 818, 018	18, 445, 564, 829	1, 573, 098	18, 447, 137, 927	0	0	(繰越利益剰余金) 22,751,510,521	22, 751, 510, 521	376, 303, 466, 46
当年度変動額	△ 7, 719, 954, 434	22, 352, 470	0	22, 352, 470	0	0	△ 681, 695, 302	△ 681, 695, 302	△ 8, 379, 297, 26
積立金の使用	0	0	0	0	0	0	0	0	
資本金への組入	0	0	0	0	0	0	0	0	
受贈等資本取引	△ 7,719,954,434	22, 352, 470	0	22, 352, 470	0	0	0	0	△ 7,697,601,96
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	△ 681, 695, 302	△ 681, 695, 302	△ 681, 695, 30
当年度末残高	327, 384, 863, 584	18, 467, 917, 299	1, 573, 098	18, 469, 490, 397	0	0	(当年度未知分利益剰余金) 22,069,815,219	22, 069, 815, 219	367, 924, 169, 20

注 この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものである。

		て安かの主きがある日本のです。	洋 ・の学館書でなびる<歩悟
(繰越利益剰余金) 22,069,815,219	18, 469, 490, 397	327, 384, 863, 584	処分後残高
0	0	0	資本金への組入
0	0	0	減債積立金の積立
0	0	0	議会の議決による処分額
д 22, 069, 815, 219	я 18, 469, 490, 397	я 327, 384, 863, 584	当年度末残高
未処分利益剰余金	資本剰余金	資本金	
थान	令和6年度東京都港湾事業剰余金処分計算書		4

南	資 座 固 定 資 座 地 31,316,900,1 6億	(令和7 資 座 田 に 資 座 田 に 資 座 地 31, 316, 900, 304 地 31, 316, 900, 304 極度 対果計額 △ 17,727, 402, 733 1 1 16, 684, 463, 047 極度 対果計額 △ 12, 214, 092, 638 極度 対果計額 △ 3, 218, 244, 097		7 4	(3) ‡		J -	4 4	(2) #		Ø		#		ħ		4		Н		t,		4	Y	(I)	퍼			
31, 316, 900, \$\triangle\$ 17, 727, 402, 14, 684, 463, \$\triangle\$ 4, 997, 105, \$\triangle\$ 3, 218, 244, \$\triangle\$ 27, 956, \$\triangle\$ 115, 048, \$\triangle\$ 5, 586, \$\triangle\$ 4, 148, \$\triangle\$ 4, 148,	(令和7	(令和7年3月31日) 資産のの部 月日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	投資その他の資産合計 固定資産合計	投資有価証券 長期 貸付 金	(3) 投資その他の資産	無形固定資産合計	その色無形固定資産	画品川人権	(2)無形固定資産	有形固定資産合計	建設仮勘定	減価償却累計額	工具器具及び備品	減価償却累計額		減価償却累計額	車両運搬具	減価償却累計額	機械及び装置	減価償却累計額	္	減価償却累計額			(1) 有形固定資産	河			
	産 の 部 13, 589, 497, 571 13, 589, 497, 571 2, 470, 370, 409 2, 470, 370, 409 878, 861, 126 59, 897, 934 5, 752, 440 1, 438, 562 1, 486, 870, 183 1, 886, 870, 183 1, 609, 000 29, 205, 761 1, 408, 560, 448											\triangle 4, 148, 135	5, 586, 697	\triangle 109, 296, 397	115, 048, 837		87, 854, 822	\triangle 3, 218, 244, 097	4, 097, 105, 223		14, 684, 463, 047	1	31, 316, 900, 304				围	資	

(2) その他流動資産 活動資産合計 資産合計	(4) 未 収 収 粧	(3) 前 払 金 ア 前 払 金 前 払 金 合 計	(2) 末 収 金 ア 賞 業 末 収 金 イ 営業外 末 収 金 ウ 未収消費税還付金 エ その他 末 収 金	(1) 現 金 預 金 ア 預 金 現金預金合計	ř P
		331, 900, 000	15, 986, 975 47, 203, 917 87, 762, 671 310, 725	34, 211, 659, 059	H
2,743,552	14, 594, 109	331, 900, 000	151, 264, 288	34, 211, 659, 059	Œ
34, 712, 161, 008 370, 332, 856, 836					Œ

56, 521, 028 2, 408, 687, 636	△ 101, 609, 871		(5) 反指化界計額業延収益合計負債合計
	158, 130, 899		5 樂 汽 坂 箱(1) 長 期 前 及 金
2, 054, 512, 178	20, 539, 615		(2)賞与引当金流動負債合計
	2, 033, 972, 563	1, 721, 600, 407 214, 657, 792 97, 714, 364	4 流 動 負 債(1) 未 ゼ 色 分 音 業 未 ゼ 金 合 計
297, 654, 430	132, 873, 300	132, 873, 300	(2) その他固定負債 ア 預 り 金 その他固定負債合計 固 定 負 債 合 計
Œ	部 円 164, 781, 130	田	3 固 定 負 債 (1) 退職給付引当金

(2) 利 益 剰 余 金 ア 当年度未処分利益剰余金 利益剰余金合計 剰 余 金 合 計 資 本 合 計 負債資本合計	7 剰 余 金 (1) 資 木 剰 余 金 ア 受贈財産評価額 イ その他資本剰余金 資本剰余金合計	6 6 本	
22, 069, 815, 219	18, 467, 917, 299 1, 573, 098	305, 971, 324, 138 21, 413, 539, 446	日資本
22, 069, 815, 219	18, 469, 490, 397	327, 384, 863, 584	幣
40, 539, 305, 616 367, 924, 169, 200 370, 332, 856, 836		327, 384, 863, 584	Э

5 リース取引の処理方法 代の街 引当金の計上方法 有価証券の評価方法 固定資産の減価償却方法 消費税の会計処理基準 令和7年5月31日 無 ス取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行 っている。 引当金の取り崩しについて 1年内 7,183,026円 1年超 9,497,662円 (2)環境安全対策引当金 当事業年度における各引当金の取崩額は以下のとおりである。 なお、未経過リース料総額については、次のとおりである。 所有権移転外ファイナンス・リース取引及びオペレーティング・リー (4) 環境安全対策引当金 ポリ塩化ビフェニル (PCB) の処理費用の支出に備えるため、 (3) 貸倒引当金 債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回 (2) 賞与引当金 (1) 退職給付引当金 税抜き方式によっている。 定額法によっている。 有価証券は、個別法による原価法によっている。 収不能見込額を計上している。 職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額 (12月から3月 将来発生すると見込まれる額を計上している。 までの4か月分)を計上している。 支給額に相当する額を計上している。 京 職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要 16, 680, 688 円 绺 知 # 18,879,151円 ÷ 189,000円 街 퍼 $\Box \triangleright$ 4

東京都交通事業会計決算

(1) 収益的収入	1 令 及び支出	和 6 年	度 東 京 都	交 通 事 業 決	算 報 告 書	
科目	入 予 当初予算額	第 補 正 予 第 額	額 計	决 算 額	予算額に比べ	備考
1 自動車運送事業収益	当初予算額円46,076,000,000	補正予算額円0	音	円 47, 472, 511, 590	次 算 額 の 増 政 円 1,396,511,590	(うち仮受消費税 「 及び地方消費税)
営業 収益	44, 162, 000, 000 1, 914, 000, 000	0	44, 162, 000, 000 1, 914, 000, 000	45, 484, 448, 044 1, 987, 989, 428	1, 322, 448, 044 73, 989, 428	
特別利益	8, 372, 000, 000	. 0	8, 372, 000, 000	74, 118 5, 051, 061, 787	74, 118 △ 3, 320, 938, 213	
営業 収益	3, 280, 000, 000	0	3, 280, 000, 000	3, 191, 718, 581	△ 88, 281, 419	
営業外収益 3新交通事業収益	5, 092, 000, 000 8, 318, 000, 000	0	5, 092, 000, 000 8, 318, 000, 000	1, 859, 343, 206 8, 508, 203, 859	△ 3, 232, 656, 794 190, 203, 859	
営業 収益	6, 599, 000, 000 1, 719, 000, 000	0	6, 599, 000, 000 1, 719, 000, 000	7, 093, 845, 838 1, 414, 358, 021	494, 845, 838 △ 304, 641, 979	
収 入 合 計	62, 766, 000, 000	0	62, 766, 000, 000	61, 031, 777, 236	△ 1,734,222,764	4, 137, 039, 288

支	出								
		予	算	. 額			地方公営企業法第		
科 目	当初予算額	補正予算額	小計	地方公営企業法第 26条第2項の規定 による繰越額	승 카	決 算 額	26条第2項の規定による繰越額	不用額	備考
自動車運送事業費	円 48, 041, 000, 000	円 0.	48, 041, 000, 000	円 0	円 48, 041, 000, 000	円 45, 420, 693, 571	円 0	円 2, 620, 306, 429	(うち仮払消費税 及び地方消費税)
営 業 費 用	45, 742, 000, 000	0	45, 742, 000, 000	0	45, 742, 000, 000	43, 444, 127, 549	. 0	2, 297, 872, 451	
営業 外費 用	2, 279, 000, 000	0	2, 279, 000, 000	0	2, 279, 000, 000	1, 963, 546, 244	0	315, 453, 756	
特 別 損 失	20, 000, 000	. 0	20, 000, 000	0	20, 000, 000	13, 019, 778	0	6, 980, 222	
軌 道 事 業 費	8, 478, 000, 000	0	8, 478, 000, 000	0	8, 478, 000, 000	4, 808, 632, 753	0	3, 669, 367, 247	
営 業 費 用	3, 384, 000, 000	0	3, 384, 000, 000	0	3, 384, 000, 000	2, 889, 710, 763	0	494, 289, 237	
営業外費用	5, 094, 000, 000	0	5, 094, 000, 000	0	5, 094, 000, 000	1, 918, 914, 968	. 0	3, 175, 085, 032	
特別損失	0	0	0	0	0	7, 022	0	△ 7,022	
新交通事業費	9, 225, 000, 000	0	9, 225, 000, 000	0	9, 225, 000, 000	7, 969, 710, 688	0	1, 255, 289, 312	
営 業 費 用	7, 328, 000, 000	. 0	7, 328, 000, 000	0	7, 328, 000, 000	6, 443, 331, 959	0	884, 668, 041	
営業外費用	1, 897, 000, 000	0	1, 897, 000, 000	0	1, 897, 000, 000	1, 526, 373, 901	0	370, 626, 099	
特 別 損 失	0	0	0	0	. 0	4, 828	0	△ 4,828	
出合計	65, 744, 000, 000	0	65, 744, 000, 000	0	65, 744, 000, 000	58, 199, 037, 012	0	7, 544, 962, 988	1, 935, 251, (
								. —	

(2)資本的収入 / 収	及び支出入							
			予	算	額		予算額に比べ	
科目	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26 条の規定による繰越 額に係る財源充当額		決 算 額	決算額の増減	備考
1自動車運送事業	円	円	. 円	円	Ħ	. P	円	(うち仮受消費税 円 及び地方消費税)
資本的収入	4, 686, 000, 000	. 0	4, 686, 000, 000	. 0	4, 686, 000, 000	2, 115, 299, 110	△ 2,570,700,890	次022316頁(机)
企業 債	4, 569, 000, 000	0	4, 569, 000, 000	0	4, 569, 000, 000	2, 000, 000, 000	△ 2,569,000,000	-
一般会計補助金	12, 954, 000	0	12, 954, 000	. 0	12, 954, 000	12, 954, 000	. 0	
財産収入	45, 600, 000	0	45, 600, 000	0	45, 600, 000	45, 594, 110	△ 5,890	
雑 収 入	58, 446, 000	0	58, 446, 000	0	58, 446, 000	56, 751, 000	△ 1,695,000	
2 軌道事業資本的収入	565, 000, 000	. 0	565, 000, 000	0	565, 000, 000	200, 120, 230	△ 364, 879, 770	
企 業 債	565, 000, 000	0	565, 000, 000	0	565, 000, 000	200, 000, 000	△ 365, 000, 000	
財産収入	0	0	0	0	0	120, 230	120, 230	
3新交通事業資本的収入							- E	
資本的収入	3, 301, 000, 000	0	3, 301, 000, 000	0	3, 301, 000, 000	2, 123, 000, 605	△ 1, 177, 999, 395	
企業債	2,641,000,000	0	2, 641, 000, 000	. 0	2, 641, 000, 000	1,500,000,000	△ 1,141,000,000	
一般会計出資金	660, 000, 000	0	660, 000, 000	0	660, 000, 000	623, 000, 000	△ 37, 000, 000	
財産収入	0	0	0	0	0	605	605	
収入合計	8, 552, 000, 000	. 0	8, 552, 000, 000	0	8, 552, 000, 000	4, 438, 419, 945	△ 4, 113, 580, 055	3, 964, 670

					•				
支	出								
科目			予	算	額	決算額	地方公営企業法 第26条の規定に	不用額	備考
л н	当 初,予 算 額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条 の規定による繰越額		V 9F 8A	よる翌年度繰越額	7,0	
1自動車運送事業	円	円	円	円	円	円	Ħ	Ħ	(うち仮払消費税 円 及び地方消費税)
資本的支出	8, 186, 000, 000	0	8, 186, 000, 000	1, 795, 000, 000	9, 981, 000, 000	7, 927, 490, 897	0	2, 053, 509, 103	
建設改良費	4, 686, 000, 000	0	4, 686, 000, 000	1, 795, 000, 000	6, 481, 000, 000	4, 427, 490, 897	0	2, 053, 509, 103	
企業債償還金	3, 500, 000, 000	0	3, 500, 000, 000	0,	3, 500, 000, 000	3, 500, 000, 000	0	Ö	
2 軌道事業資本的支出	565, 000, 000	0	565, 000, 000	0	565, 000, 000	217, 217, 644	0	347, 782, 356	
建設改良費	565, 000, 000	. 0	565, 000, 000	0	565, 000, 000	217, 217, 644	0	347, 782, 356	
3新交通事業							-		
3新交通事業資本的支出	3, 441, 000, 000	0	3, 441, 000, 000	11, 000, 000	3, 452, 000, 000	3, 256, 931, 119	0	195, 068, 881	
建設改良費	3, 301, 000, 000	. 0	3, 301, 000, 000	11,000,000	3, 312, 000, 000	3, 116, 931, 119	. 0	195, 068, 881	
企業債償還金	140, 000, 000	0	140, 000, 000	0	140, 000, 000	140, 000, 000	0	. 0	
支 出 合 計	12, 192, 000, 000	0	12, 192, 000, 000	1, 806, 000, 000	13, 998, 000, 000	11, 401, 639, 660	0	2, 596, 360, 340	697, 776, 407

資本的収支の差引及び不足額の補塡財源は、次のとおりである。

	税 込	税抜
資本的収入合計	4, 438, 419, 945	4, 434, 455, 275
資本的支出合計	11, 401, 639, 660	10, 703, 863, 253
差	△ 6, 963, 219, 715	△ 6, 269, 407, 978
翌年度への繰越工事資金	0	0
差引資金不足額	6, 963, 219, 715	6, 269, 407, 978

差引資金不足額(税抜)は、損益勘定留保資金等で補塡した。

	6 (E) 禁	4 (2) (3) (4) (4) (2) (4) (4) (1) (4)	3 (5) (4) (3) (2) (1) (1)	2 7 6 5 4 3 2 1 mi	1 中 学
当 年 废 繕 利 益当年废 樂 縣 久 趙 金当年废 崇 縣 久 趙 金当年废 未 処 選 久 趙 金	国 定 資 産 資 産 産 産 産 産 産 産	業 冬 費 用 技巧利息及び企業實現扱議費 業	樂 久 及 益 受取利息及び配当金一 聚 会 畔 補 男 金 国 属 補 男 金 反 期 前 吳 舍 戻 入	路里運運師一談音業 業 動 級 簡 物 後 報 教 保 物 保 保 管 等 常 常 常 常 智	業 中 地 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 が 以 以 数 乗 以 (1)
純 利 越 欠 損	机 朱 机 現 共 形	大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	は 以 及 発	多字式等 给戴用件 死 那 那 那 那 那 那 那 那 那 那 那 那 那 那 那 那 那 那	益 以 雑
盆 金	湖 蓝	第 正 第	金金人益金	黄 费 费 費 費 費 蔬 蔬	有 隊
	67, 375 13, 019, 778	61, 259, 000 466, 687, 547	45, 764, 276 983, 791, 000 2, 468, 862 101, 180, 386 812, 350, 026	371, 600, 393 3, 689, 809, 096 26, 902, 584, 059 6, 192, 553, 875 60, 495, 328 1, 576, 943, 671 3, 470, 770, 733	37, 772, 508, 007 円 4, 697, 946, 163
	67, 375 13, 019, 778	527, 946, 547	1, 945, 554, 550	42, 264, 757, 155	42, 470, 454, 170 H
1, 610, 352, 615 11, 686, 772, 561 10, 076, 419, 946	△ 12, 952, 403	1, 417, 608, 003 1, 623, 305, 018		205, 697, 015 円	

	5 (L) 奉	(2)	4 (1) ji	6 5	(4)	(2)	3 (1) (2)		(8)	3 6	(5)	(4)	(3)	(2)	Ξ	C2	(2)	Ξ	
当前当年 年 東東	圏 短	受雑経託		東 越 恵 政 恵 政 安	田大田	選 注 计		減	滅価		#	崖	車		鏶	蛛	運輸	運	i 排 ₽
当 年 度 總 利 益前年度繰越欠類金当年度未処理欠損金	損 失資産売却	工支料	業 外 費 用 支払利息及び企業債取扱諸費	设金原	校 宏 計	工事収	業 外 収 益 受取利息及び配当金	煮		· · · · · · ·	mß.	索	保存		711	横囲	業	_	位 米 料
一 類 斑 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆	描	費出益	及 諸費	美人 益	金金	> >	当金	綃	準	难其	# 14#	భ	単	車	蝍		Ā	棋	
	7, 022	1, 624, 269, 091 69, 310, 998	9, 602, 208	4, 116, 558 46, 105, 163	32, 256, 000 166, 815	1, 624, 269, 091	20, 486, 612		267, 166, 072	4, 050, 044	110, 564, 660	1, 165, 046, 973	394, 998, 637	296, 706, 235	418, 471, 071		606, 272, 867	2, 353, 001, 136 円	
	7, 022	1, 703, 182, 297		1, 727, 400, 239					2, 762, 529, 445								2,959,274,003 円		
220, 955, 478 940, 058, 070 719, 102, 592	△ 7,022	24, 217, 942 220, 962, 500						196, 744, 558 円											

	5 (1)	3) (2) (1) (1)	3 6 5 4 3 2 E	2 (1) (2) (3) (3) (3) (9) (8) (8) (1)	© E
当前、当人人等交前交当年年年年 年年 年 東 通年通年年年 年 男 皮 通年通年 年	固 足			練電車運運研一減営業 緊紧尿 載 銀伯	運運
知 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 臣 東 東 東 東	資産	費金工支業	業 冬 長 純 吳辰和思及び配当命 安辰和思及び配当命 吳 元 并 贞 入 人 受 託 二 并 贞 入 一 资 公 罕 補 罗 命 国 属 善 罗 令 恨 进 当 级 金 买 入 辩	妻 亲保眠畅管 管償	を を を で こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ
和 欠 火 型 电 現	先	用 無 費 費 出 出	海 政	用存存存 理所理划利费教典教教教教教教教教教教教教教教教教教	· 及籍 類及
MARKAT M M M.	I	1	ז עין ע עין עין ע יעד. 		~ m:
	4, 828	182, 648, 739 1, 216, 645, 757 36, 254, 672	28, 858, 862 1, 216, 645, 757 29, 096, 000 355, 872 787, 288 11, 198, 049	651, 302, 578 1, 231, 271, 369 1, 184, 367, 686 420, 965, 343 810, 538, 701 95, 342, 504 8, 932, 965 225, 566, 253 1, 471, 625, 677	6, 189, 787, 172 円 310, 121, 668
	4, 828	1, 435, 549, 168	1, 286, 941, 828	6, 099, 913, 076	6, 499, 908, 840 円
251, 383, 596 18, 904, 735, 183 18, 653, 351, 587 2, 082, 691, 689 31, 531, 565, 814 29, 448, 874, 125	△ 4, 828	△ 148, 607, 340 251, 388, 424		399, 995, 764 円	

										3			度 東 京 都 4月 1日から			制余金計算書 1日まで)			
_			-			Т		Τ						剰 余 金					
						強	* 本 会		資 本	剩余	金 .	Т			益	剰 余 金		評価差額等	資 本 合
								事受評	業 施 i 贈 財 i	受 資 合	本剩余分	都事積	営 交 通 業経営改善 立 金	建設。	良金	未処分利益剰余金	川益 剰 余 金 計	·	
							. P		į	ŋ	P	9	円		円	円	F	P	
ń	4	F. B	ξ':	末	残	衔	55, 577, 032, 78		172, 380, 82	6	172, 380, 82	6	90, 000, 000, 000	7, 000, 00	0, 000	△ 31, 531, 565, 814	65, 468, 434, 186	23, 333, 209, 129	144, 551, 056, 9
ń	4	F B	E ;	処	分(額				0		0 .	0		0	0	C	C	
are.	義全	きの議	決に	1.2	5処分	額				0		0	. 0		0	0		C	
e.		分	後	3	茂	高	55, 577, 032, 78		172, 380, 82	6	172, 380, 82	6	90, 000, 000, 000	7, 000, 00	0,.000	(繰越欠損金) △ 31,531,565,814	65, 468, 434, 186	23, 333, 209, 129	144, 551, 056, 9
4	4	丰度	ξ 3	変	動	額	623, 000, 00			0		0	0		0	2, 082, 691, 689	2, 082, 691, 689	△ 21, 948, 673, 612	△ 19, 242, 981, 9
	一点	0会計	出資	金0	り受入:	h	623, 000, 00)		0		0	. 0		0	0			623, 000, 0
ŀ	*	年	度	純	利	益)		0		0	0		0	2, 082, 691, 689	2, 082, 691, 689		2,082,691,6
ŀ	その	の他有	価額	E券i	平価差	額)		0		0 .	0		0	0	(△ 21, 948, 673, 612	△ 21,948,673,6
4	4	年 度	E :	末	残	高	56, 200, 032, 78		172, 380, 82	6	172, 380, 82	6	90, 000, 000, 000	7, 000, 00	0,000	(当年度未処理欠損金) △ 29,448,874,125	67, 551, 125, 878	1, 384, 535, 517	125, 308, 074, 9
	(%	主) :	の部	十算:	書にお	ける	△表記は、減少、	損失又に	は欠損を示す	もので	ある。								
																			si,
									*.										

故はたの角のは居合 足資 施合 詳	医通数变化 の 高の 変 網 公 一 一 一 一 一	その他投資	他会計貸付金	田資金	來	投資その他の資産	無形固定資産合計	医连角缺疾 野河	医测能表面低液系令 苯 整	建設仮勘定	その他無形固定資産	電話施設利用権	电形回记仪图台即制 形 固 汽 頌 涵	20 年 20 克 克 克 克 克 克 克 克 克 克 克 克 克 克 克 克 克 克	減価償却累計額 △1		\triangleright	本		ジー イ 戸 囲 通信信担累計額 /	価質		減価償却累計額 △ 6,83		価償却累計額	П	⊳			減価償却累計額 △ 7,81	線 路 設 備 14,24	減価償却累計額 △ 14,89	建 物 27,96	计	
	ı													1	△ 18, 878, 559	343, 764, 708	4, 556, 403, 310	8, 306, 713, 035	0000	505,584	△ 9, 391, 184, 150	11, 009, 416, 927	6, 837, 449, 036	8, 862, 628, 578	△ 34, 250, 663, 094	48, 990, 820, 132	7, 582, 224, 267	9 490 599 720	19, 776, 679, 340	△ 7,815,847,386	14, 243, 293, 983	\triangle 14, 896, 171, 155	27, 966, 232, 697 🖽		
	52, 732, 271	131, 334, 385	90, 000, 000, 000	125, 000	18, 853, 028, 592			345, 455, 000	171, 801, 811	49, 703, 000	122, 669, 009	166, 100		6, 871, 000	324, 886, 149		3, 750, 309, 725	19 0000	2 197 009 852	168, 528	1, 618, 232, 777		2, 025, 179, 542		14, 740, 157, 038		1, 908, 375, 453	6, 201, 867, 032		6, 427, 446, 597		13, 070, 061, 542		23, 911, 661, 090 円	
109, 037, 220, 248 185, 909, 241, 493 円							689, 794, 920						76, 182, 226, 326 FJ																					IJ	

章 1.0 5.5 5.5 5.5 2.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5	流動負化	1	(b) 更 权 第 ① 純業語政会 ② 六の音運政会	来る数量のの数素を含くののできまれる。	語 夢 魚 商 合 樂 ・	(1) 全 紫 (1) 全 紫 (1) 全 紫 (2) リーメも (3) 引 当 (3) 過職給付 国定生	2 图 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(日本) 日前前来 業業 はいい (日前前来 大学の) (日前前末 大学 (日前 大学 (日前 大学 (日前 大学 (日本) 大学 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	我 (3) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
		1, 684, 725, 500 14, 043, 321	1, 035, 740, 750 370, 410, 000	6, 858, 856, 360 172, 867, 371 1, 929, 894, 672 510, 665, 800	5, 352, 000, 000	59, 299, 000, 000 15, 462, 861, 064	頑の	2, 033, 415, 232 2, 817, 525, 168 2, 569, 059, 698	61, 748, 000 H 29, 017, 333, 838
		1, 698, 768, 821	1, 406, 150, 750	9, 472, 284, 203 23, 817, 570	5, 352, 000, 000 75, 813, 612	59, 299, 000, 000 281, 746, 528 15, 462, 861, 064		7, 420, 000, 098 274, 042, 739 16, 682, 792 527, 043, 000 16, 936, 271	

(1) 平 平 ・ ・	© © <u>±</u>	7 (L)	6 (1) (2) (3) 英 (4) そ		9		(a)	(4)			8
自 挑 簽 學	日 兹 剩 余 仓 館	会	本 金一般会計出資金 再評価額立金組入額 減債積立金組入額 その他剰余金組入額 その他剰余金組入額	雞 紅 权 祥 合 早 食 合 早	次 4 0 mm /	反為化聚計額 與 成 要 稱 或 定 要 為 為	収益化累計額その他補助金等	収益化累計額工 事 負 担 金	収 益 化 累 計 額 一般会計補助金	湖 化 聚 計	受贈財産
				凝	494, 860, 895 △ 233, 815, 308	△ 587, 649, 683	△ 160, 367, 158 650, 079, 165	△ 1, 019, 296, 914 220, 859, 151	△ 380, 952, 157 1, 104, 984, 646	△ 2, 027, 325, 142 401, 216, 990	2, 780, 232, 142 円
	90, 000, 000, 000 7, 000, 000, 000 29, 448, 874, 125	172, 380, 826		本のの	261, 045, 587	62, 429, 482 18, 000, 000	60, 491, 993	85, 687, 732	20, 264, 833	752, 907, 000 円	H
1, 384, 535, 517	67, 551, 125, 875	172, 380, 826	11, 841, 000, 000 1, 260, 535, 300 30, 900, 000, 000 12, 198, 497, 481		1, 260, 826, 627 円						
1, 384, 535, 517 125, 308, 074, 999 223, 243, 028, 231	67, 723, 506, 701		56, 200, 032, 781	1, 260, 826, 627 H 97, 934, 953, 232	TI TI						

53 令和7年10月31日(金曜日)

Ħ

6

重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券 ア 満期保有目的の債券 償却原価法 (定額法) によっている。

イ その他有価証券

より処理している。) 決算期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。(評価差額は、全部純資産直入法に

2 固定資産の減価償却の方法 移動平均法による原価法によっている。

(2) 貯蔵品

(1) 有形固定資産

自動車運送事業及び軌道事業については、原則として定率法によっている。ただし、建物及び

リース資産については、定額法によっている。 なお、取替資産については、取替法によっている。 新交通事業については、定額法によっている。

主な耐用年数 建物 線路設備 8~50年

(2) 無形固定資産 5~13年 3~60年

3 引当金の計上方法 定額法によっている。

(1) 退職給付引当金

(2) 賞与引当金 職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当 職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額を計上し

(3) ポイントサービス引当金 年度の負担に属する額(12月から3月までの4か月分)を計上している。

費用負担に備えるため、当年度末における利用見込額を計上している。 東京都交通局ポイントサービス制度に基づき、会員に付与したポイントの利用により発生する

4 消費税等の会計処理基準 税抜き方式によっている。

Ι キャッシュ・フロー計算書

負債の額は 373,860,181円である。 重要な非資金取引として、新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産の額は 339,872,892円

Ⅲ セグメント情報

1 報告セグメントの概要

本会計は、自動車運送事業、軌道事業及び新交通事業を運営しており、各事業で運営方針を決定し

ていることから、これらの3事業を報告セグメントとしている。

各報告セグメントに属する事業の内容は、次のとおりである。

新交通事業	軌道事業	自動車運送事業	事業区分	
日暮里・舎人ライナーによる旅客運送事業	電車による旅客運送事業	乗合自動車及び貸切自動車による旅客運送事業	事業の内容	

2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度(合和6年4月1日から合和7年3月31日まで)

当年度(令和6	当年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)	和7年3月31日	**	(単位:円)
区分	自動車運送事業	軌道事業	新交通事業	수 #
営業収益	42,470,454,170	2,959,274,003	6,499,908,840	51,929,637,013
营業費用	42,264,757,155	2,762,529,445	6,099,913,076	51,127,199,676
営業損益	205,697,015	196,744,558	399,995,764	802,437,337
経常損益	1,623,305,018	220,962,500	251,388,424	2,095,655,942
セグメント資産	181,660,796,282	9,577,134,919	32,005,097,030	223,243,028,231
セグメント負債	53,482,407,678	5,491,152,937	38,961,392,617	97,934,953,232
他会計繰入金	983,791,000	32,256,000	29,096,000	1,045,143,000
減価償却費	3,470,770,733	267,166,072	1,471,625,677	5,209,562,482
特別利益	67,375	0	0	67,375
特別損失	13,019,778	7,022	4,828	13,031,628
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,251,914,111	216,164,508	2,871,143,306	7,339,221,925

W リース契約により使用する固定資産

1 リース取引の処理方法

(1) リース料総額が300万円超かつリース期間が1年超の所有権移転外ファイナンス・リース取引 については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

(2) リース料総額が300万円以下又はリース期間が1年以内の所有権移転外ファイナンス・リース 取引及びオペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計 処理を行っている。

2 オペレーティング・リース取引に係る未経過リース料相当額(税込)

1年内 200,620,420円

₽ 1年超 369, 444, 240円 168, 823, 820H

V その他の注記

1 退職給付引当金の取崩し

当年度において、退職給付引当金 2,229,125,392円を取り崩した。

2 賞与引当金の取崩し

当年度において、賞与引当金 1,763,936,991円を取り崩した。

3 ポイントサービス引当金の取崩し

当年度において、ポイントサービス引当金 10,329,561円を取り崩した。

令和7年5月31日

東京都公営企業管理

東京都交通局長

描 麒 鸨 ** 4

1 令 和 6 年 度 東 京 都 高 速 電 車 事 業 決 算 報 告 書

(1) 収益的収入及び支出

収入

59 11	予	算	額	決 算 額	予算額に比べ 備 考
科目	当初予算額	補正予算額	合 計	·	決算額の増減
高速電車事業収益	円 176, 088, 000, 000	円 0	円 176, 088, 000, 000	円 183, 004, 227, 346	円 (うち仮受消費税 6,916,227,346 及び地方消費税)
営業 収益	152, 958, 000, 000	. 0	152, 958, 000, 000	160, 150, 307, 878	7, 192, 307, 878
営業外収益	17, 849, 000, 000	0	17, 849, 000, 000	17, 031, 307, 170	△ 817, 692, 830
特 別 利 益	5, 281, 000, 000	0	5, 281, 000, 000	5, 822, 612, 298	541, 612, 298
収入合計	176, 088, 000, 000	0	176, 088, 000, 000	183, 004, 227, 346	6, 916, 227, 346 14, 012, 942, 48

支 出

		予	算	額			地方公営企業法第		
科目	当初予算額	補正予算額		地方公営企業法第 26条第2項の規定 による繰越額	合 計		26条第2項の規定 による.繰越額		備考
高速電車事業費	円 167, 940, 000, 000	円 0	円 167, 940, 000, 000	円 45, 626, 000	円 167, 985, 626, 000	円 153, 877, 896, 118	円 0	円 14, 107, 729, 882	(うち仮払消費税 円 及び地方消費税)
営業費用	156, 208, 000, 000	0	156, 208, 000, 000	45, 626, 000	156, 253, 626, 000	144, 465, 601, 098	0	11, 788, 024, 902	
営業外費用	11, 732, 000, 000	. 0	11, 732, 000, 000	0	11, 732, 000, 000	9, 411, 935, 006	0	2, 320, 064, 994	
特 別 損 失	. 0	0	0	0	0	360, 014	0	△ 360,014	
支 出 合 計	167, 940, 000, 000	0	167, 940, 000, 000	45, 626, 000	167, 985, 626, 000	153, 877, 896, 118	0	14, 107, 729, 882	5, 232, 155, 471

(2) 資	本的収入》	及び支出 入							
				予	算	額		予算額に比べ	
科	目	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26 条の規定による繰越 額に係る財源充当額	승 카	決 算 額	決算額の増減	備考
惠 凍	雷市事業	円	円	• 円	円	円	円	H	(うち仮受消費税 円 及び地方消費税)
資本	電車事業的収入	57, 900, 000, 000	0	57, 900, 000, 000	0	57, 900, 000, 000	32, 842, 667, 391	△ 25, 057, 332, 609	次0 ² 27,111頁(元)
企	業,債	25, 000, 000, 000	0	25, 000, 000, 000	0	25, 000, 000, 000	7, 352, 000, 000	△ 17, 648, 000, 000	
一般:	会計出資金	14, 579, 000, 000	0	14, 579, 000, 000	0	14, 579, 000, 000	10, 484, 000, 000	△ 4,095,000,000	[. *
国庫	車補助金	2, 109, 087, 000	0	2, 109, 087, 000	0	2, 109, 087, 000	582, 760, 315	△ 1, 526, 326, 685	
一般	会計補助金	2, 343, 430, 000	. 0	2, 343, 430, 000	0 '	2, 343, 430, 000	651, 711, 463	△ 1, 691, 718, 537	
財	産 収 入	765, 603, 000	0	765, 603, 000	0	765, 603, 000	771, 732, 033	6, 129, 033	
有質逻	価 証 券 量 金 収 入	13, 000, 000, 000	0	13, 000, 000, 000	. 0	13, 000, 000, 000	13, 000, 000, 000	. 0	
雑・	収 入	102, 880, 000	0	102, 880, 000	0	102, 880, 000	463, 580	△ 102, 416, 420	
収入	人 合 計	57, 900, 000, 000	0	57, 900, 000, 000	0	57, 900, 000, 000	32, 842, 667, 391	△ 25, 057, 332, 609	6, 125

3	支		出								
					予	算	額		地方公営企業法第		
科	Ħ		当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条 の規定による繰越額	合 計	決 算 額	26条の規定による翌年度繰越額	不用額	備考
立法療		- 4%	円	円	円	円	円	円	円	H	(うち仮払消費税 円 及び地方消費税)
高速電資本的	的支	出	103, 736, 000, 000	. 0	103, 736, 000, 000	4, 453, 733, 000	108, 189, 733, 000	77, 492, 018, 349	3, 578, 000, 000	27, 119, 714, 651	次 (3年2月1日 頁 1元)
建設	改良	費	75, 400, 000, 000	. 0	75, 400, 000, 000	4, 453, 733, 000	79, 853, 733, 000	55, 185, 589, 069	3, 578, 000, 000	21, 090, 143, 931	
企業債	貨貨選	金	16, 306, 000, 000	0	16, 306, 000, 000	0	16, 306, 000, 000	16, 305, 030, 418	0	969, 582	
投		資	12, 000, 000, 000	0	12, 000, 000, 000	0	12, 000, 000, 000	6, 000, 000, 000	0	6, 000, 000, 000	
雑	支	出	30, 000, 000	0	30, 000, 000	0	30, 000, 000	1, 398, 862	0	28, 601, 138	
支 出	合	計	103, 736, 000, 000	- 0	103, 736, 000, 000	4, 453, 733, 000	108, 189, 733, 000	77, 492, 018, 349	3, 578, 000, 000	27, 119, 714, 651	2, 441, 880, 41

資本的収支の差引及び不足額の補塡財源は、次のとおりである。

		税	込	税	抜	
	資本的収入合計	32, 842	2, 667, 391	32, 842	2, 661, 266	
_	資本的支出合計	77, 492	2, 018, 349	75, 050	0, 137, 934	
	差	△ 44,649	9, 350, 958	△ 42, 20	7, 476, 668	
	翌年度への繰越工事資金	3, 578	3,000,000	3, 252	2, 727, 273	
	差引資金不足額	48, 227	7, 350, 958	45, 460	0, 203, 941	

差引資金不足額(税抜)は、損益勘定留保資金等で補塡した。

Boj:		翭	¥	棋	HYT			
Ξ	崖	讏		Ţ	梢	135, 598, 479, 272 円		
(2)	鬞	讏		蕃	対	10, 577, 671, 975	146, 176, 151, 247 円	
12 10]:		***	滩	田	ш			
Ξ	薬	器	展	牟	準	15, 072, 291, 146		
	冊	器	乘	牟	崋	10, 038, 646, 740		
	 0 	围	展	牟	準	8, 789, 345, 417		
(4)	闸		挢		華	17, 832, 741, 080		
	M		氌		準	28, 788, 311, 434		
(6)	闽	杏	m)}	浀	準	6, 283, 422, 977		
(7)	单	蓹		뿌	準	210, 598, 866		
(8)	I	悫	m)}	曲	堆	5, 227, 779, 919		
(9)	澒	亩	TÌ.	进	崋	47, 041, 497, 122	139, 284, 634, 701	
	EQ:	쌞		*	頏			6, 891, 516, 546 円
3 時	綝	*	Ţ	又 詳	HYT			
Ξ	長馬	生	\bowtie	受取利息及び配当		482, 558, 422		
(2)	Ala	影工	#	草	\succ	490, 597, 996		
		NY		補助		5,620,082,000		
		# -	金	> !		43, 084, 967		
6	群 〉	3	立 文	*	(相	622, 165, 216	16, 992, 521, 309	
	無	94	堆	世田	-			
Ξ	支払利	り息及し	× ÷	支払利息及び企業債取扱諸費	報	2, 578, 635, 282		
(2)	μJa	1	Н	#	塒	490, 597, 996		
(3)	藩		\forall		Œ	254, 362, 956	3, 323, 596, 234	13, 668, 925, 075
	黨	∃Qŧ		型	뙦			20, 560, 441, 621
5 本		믤	坐	祥	HYP			
Ξ	団	后資	Ħ	売 却	料	5, 822, 612, 298	5, 822, 612, 298	
6		18	莁	*	711			
Ξ	皿	定資	栅	売却	莁	360, 014	360, 014	5, 822, 252, 284
	胀	年	產	也	緭			26, 382, 693, 905
		興	墨西	年度繰越欠損金			ı	197, 161, 448, 883
	业单	東米	処	年度未処理欠損金	金			170, 778, 754, 978

					3			電車事業剰令和7年3月31				
		-						剰 余 金				
				資本	®		資本 剰 余金			利益則	剣 余 金	資本合
					事業施設受贈財産 評 価 額	国庫補助金	一般会計補助金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	未処分利益剰余金	利益剩余金合計	
					ъф ру	P	PI	н	H	P P	円	
前 垒	手 度	末	残高	514, 090, 877, 0	518, 592, 630	48, 611, 632, 424	50, 427, 783, 019	57, 510, 725	99, 615, 518, 798	△ 197, 161, 448, 883	△ 197, 161, 448, 883	416, 544, 946, 9
前 <u> </u>	下 度	' 処	分 額		0 0	0	0	0	0	. 0	. 0	
議会	会の議社	失によ	る処分額		0 0	0	0	0	. 0	0	0	
Ţ.	分	後	残高	514, 090, 877, 0	518, 592, 630	48, 611, 632, 424	50, 427, 783, 019	57, 510, 725	99, 615, 518, 798	(繰越欠損金) △ 197, 161, 448, 883	△ 197, 161, 448, 883	416, 544, 946, 9
当 4	F 度	変	動額	10, 484, 000, 0	0 0	. 0	. 0	0	0	26, 382, 693, 905	26, 382, 693, 905	36, 866, 693, 9
-A	· 단순計	出資金	の受入れ	10, 484, 000, 0	0 0	0	. 0	0	. 0	0	0	10, 484, 000, 0
当	年月	度 純	利益		0 0	. 0	0	0	0	26, 382, 693, 905	26, 382, 693, 905	26, 382, 693, 9
¥ 4	手 度	末	残高	524, 574, 877, 0	518, 592, 630	48, 611, 632, 424	50, 427, 783, 019	57, 510, 725	99, 615, 518, 798	(当年度未処理欠損金) △ 170,778,754,978	△ 170, 778, 754, 978	453, 411, 640, 8
(%	E) 3	この計3	はない書車	ける△表記は、核少	、損失又は欠損を示すも	のである。						

当 年 度 末 残 高 524,574,877,000 99,615,518,798 △ 170,778,754,978 歳 会 の 議 決 に よ る 処 分 額 0 0 (繰越欠損金) 0 0 0 (繰越欠損金) 0 0 0 (繰越欠損金) 0 0 0 0 (繰越欠損金) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
年 度 末 残 高 524,574,877,000 99,615,518,798 △会 の 議 決 に よ る 処 分 額 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
会の議決による処分額 0 0 0 0 分 後 残 高 524,574,877,000 99,615,518,798 △ (注) この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものである。
分 後 残 高 524,574,877,000 99,615,518,798 △ (注) この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものである。
この計算書における△表記は、減少、

(1) 有形固定資産 (1) 有形固定資産 (1) 有形固定資産 (1) 有形固定資産 (1) 有形固定資産 (2) 健 物 39,307,265,217円 20 健 物 20,648,700,386 19,658,564,831 (3) 線価償却果計額 △1,56,676,259 494,833,832 (6) 耳 同 193,111,341,646 減価償却果計額 △113,156,676,849 61,943,306,772 20 機 模 按 國 151,094,579,114 (2) 無限固定資産 (3) 上具、器具、備品 25,253,943,881 (3) 上具、器具、備品 25,253,943,881 (4) 上 権 △192,244,040,310 6,009,903,571 (5) 上度、器具、備品 25,253,943,881 (6) 過程有期限計額 △19,244,040,310 6,009,903,571 (7) 提 表 模 版 (8) 過程 財 同 25,253,943,881 (9) 過程 財 日 25,253,943,881 (10) 地 2 時
■ 39, 307, 265, 217 H △ 19, 648, 700, 386 1, 856, 392, 210, 334 △ 941, 203, 316, 630 △ 175, 099, 983, 621 △ 4, 465, 676, 259 193, 111, 341, 646 △ 165, 408, 816, 297 151, 084, 579, 114 △ 114, 550, 887, 979 25, 253, 943, 881 △ 19, 244, 040, 310 8, 695, 488 △ 6, 521, 616 8, 400, 924, 807 △ 4, 992, 026, 765 928, 305, 156 △ 50, 707, 022
度 の 数 133,046,570,268 円 133,046,570,268 円 19,658,564,831 915,188,893,704 61,943,306,772 494,833,832 87,702,525,349 36,533,681,135 6,009,903,571 2,173,872 19,319,084,397 3,408,898,042 877,598,134 1,706,250 6,002,000 5,612,161 1,066,525 588,772,949 441,960,826 1,162,072,000 6,000,000,000 132,948,520 1149,849,232

営る	1		② 化多维米基金		17. 林 世 # # # # # # # # # # # # # # # # # #	(2) リース債務	② 地下鉄特列債	① 藥 漿 漿 双 聲 鈴	(1) 企 業 債	4 流 動 負 債	固定負債合計	①割賦未払金	(5) その他固定負債		(A) 51	」 ス 3 信	色 水 門 方		(2) 長期借入金	善	は	定負債		网络	男真用可	(1) かの句に野冥丽 新星 終 相 今 4				当 共 連 事	₩ '	di.	雪 業 外 オ	高業米	R	nii i		(1) 理 会 及 77 預 会
																							童															
7, 191, 980, 062 21, 116, 143		2, 217, 353, 500	5. 903. 708. 592	12, 021, 513, 791	10 001 710 701		3, 960, 000, 000	11, 356, 622, 684				100, 000, 000, 000		5, 572, 000	30, 640, 335, 827		90, 000, 000, 000	155, 000, 000, 000		20, 931, 000, 000	190, 753, 824, 091		債の部			1						3, 054, 176, 949	3, 164, 896, 075	9, 620, 689, 408		155, 418, 307, 837	932, 160, 750 円	
7, 213, 096, 205	209, 669, 457	20, 293, 189, 251				206, 618, 398	15, 316, 622, 684					100, 000, 000, 000		30, 645, 907, 827		761, 130, 814	245, 000, 000, 000			211, 684, 824, 091						27, 957, 000	97, 676, 613	07 070 910	5 698 149 400	95 038 687	3 904 267 481	15, 839, 762, 432				156, 350, 468, 587 H		
											588, 091, 862, 732													1, 478, 052, 049, 950	182, 013, 522, 400 HJ	100 010 500 400 H												

湖 第 3 3 4 3 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	日本 製 示 記 合 和 日本 製 示 記 合 に と) 欠 損 金 で 当 年度未処理欠損金 を お ね を 全 単	7 更余命(1)資本更余金(1)資本更余金(1)資本更余金(1)資本更余金(1) 金額 第 金額 (1) 金額 (6 資 本 金 (1) 一般会計出資金 資 本 金 合 計	英墨巴安会中野 蒙洛克格哈里 寅 命 帝 中			⑤ その街舗男金筆 受 様 代 果 羋 緧	反	収益化累計額 - 4 担 金	収益化累計額 ③ 一般会計補助金	②国庫補助金	① 炎 蹈 財 魚 肉溢化累計額	是 以 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 即 是 即 是 即 是	流動負債合計	(8) その他流動負債 ① 割 賦 未 払 金	(7) 預 り 食
			Д	ŗ	△ 354, 142, 828		$11, 291, 429, 639$ $\triangle 7, 499, 846, 157$	△ 5, 346, 821, 237	△ 105, 760, 497, 364 7, 395, 657, 386	△ 96, 684, 900, 831 288, 730, 594, 931	265, 370, 127, 125	13, 386, 585, 733 H 4, 428, 690, 204				
	170, 778, 754, 978	518, 592, 630 48, 611, 632, 424 50, 427, 783, 019 57, 510, 725	\$ 5		383, 801, 790	2, 192, 809, 513	3. 791. 583. 482	2, 048, 836, 149	182, 970, 097, 567	168, 685, 226, 294		8, 957, 895, 529			20, 000, 000, 000	166, 347, 299
110, 110, 104, 010	99, 615, 518, 798	00 615	524, 574, 877, 000	369, 030, 280, 324											20, 000, 000, 000	2, 683, 198, 212 円 1, 595, 901, 867
△ 71, 163, 236, 180 453, 411, 640, 820 1, 478, 052, 049, 950			524, 574, 877, 000	369, 030, 250, 324 1, 024, 640, 409, 130										67, 518, 296, 074 円		F

59

重要な会計方針

6 注

```
田 貸借対照表
                                                                                                                                                 Π キャッシュ・フロー計算書
のを含む。) のうち、他会計が負担すると見込まれる額は 24,891,000千円である。
                                                                                                  負債の額は 1,010,395,360円である。
                                                                                                                                                                                                                          4 消費税等の会計処理基準
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             2 固定資産の減価償却の方法
                           貸借対照表に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のも
                                                                                                                        重要な非資金取引として、新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産の額は 918,541,236円
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   3 引当金の計上方法
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      1 資産の評価基準及び評価方法
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           (3) ポイントサービス引当金
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 (2) 賞与引当金
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           (1) 退職給付引当金
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  (2) 無形固定資産
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      (1) 有形固定資産
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              (2) 貯蔵品
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                (1) 有価証券
                                                                                                                                                                                                  税抜き方式によっている。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                 (4) 環境安全対策引当金
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               年度の負担に属する額(12月から3月までの4か月分)を計上している。
                                                                                                                                                                                                                                                   まれる額を計上している。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          費用負担に備えるため、当年度末における利用見込額を計上している。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     イ その他有価証券
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      ア 満期保有目的の債券
                                                                                                                                                                                                                                                                           保管するポリ塩化ビフェニル(PCB)の処理費用の支出に備えるため、今後発生すると見込
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            定額法によっている。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  東京都交通局ポイントサービス制度に基づき、会員に付与したポイントの利用により発生する
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額を計上し
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            定額法によっている。ただし、取替資産については取替法によっている。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   移動平均法による原価法によっている。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      より処理している。)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      主な耐用年数
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             画画
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             維物
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 線路設備
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            決算期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。(評価差額は、全部純資産直入法に
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               償却原価法(定額法)によっている。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   6~60年
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             8~50年
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             13年
```

N リース契約により使用する固定資産 1 リース取引の処理方法

(1) リース料総額が300万円超かつリース期間が1年超の所有権移転外ファイナンス・リース取引 については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。(2) リース料総額が300万円以下又はリース期間が1年以内の所有権移転外ファイナンス・リース

取引及びオペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計

Ⅴ その他の注記

処理を行っている。

1 退職給付引当金の販崩し 当年度において、退職給付引当金 1,724,141,091円を取り崩した。

2 賞与引当金の取崩し

当年度において、賞与引当金 2,562,291,186円を取り崩した。

3 ポイントサービス引当金の取崩し

当年度において、ポイントサービス引当金 122,572,479円を取り崩した。

令和7年5月31日

東京都公培企業管理者 東京都公通局長 堀 越

岩彩